

令和9年度（令和9年4月入学）・令和8年度（令和8年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士前期課程（修士課程）一般入試学生募集要項

学 域	専 攻	一般入試			
		4月入学			秋入学
		第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	
応用生物学域	応用生物学専攻	20名	—	若干名	—
物質・材料科学域	材料創製化学専攻	18名	—	若干名	—
	材料制御化学専攻	17名	—	若干名	—
	物質合成化学専攻	18名	—	若干名	—
	機能物質化学専攻	17名	—	若干名	—
設計工学域	電子システム工学専攻	10名	—	—	—
	情報工学専攻	21名※	—	若干名	—
	機械物理学専攻	16名	—	若干名	—
	機械設計学専攻	12名	—	若干名	—
デザイン科学域	デザイン学専攻	30名	—	若干名	若干名
	建築学専攻	61名	—	—	—
	京都工芸繊維大学・チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	4名	—	—	—
繊維学域	先端ファイブプロ科学専攻	35名	若干名	若干名	—
	バイオベースマテリアル学専攻	12名	若干名	若干名	—
出 願 期 間	4月入学 第Ⅰ期：令和8年7月13日～7月21日 第Ⅱ期：令和8年9月8日～9月15日 第Ⅲ期：令和8年11月2日～11月10日 秋入学 令和8年5月21日～5月27日				
学 力 検 査 日	4月入学 第Ⅰ期：令和8年8月19日・20日（予備日：8月22日・23日） 第Ⅱ期：令和8年10月10日（予備日：10月11日） 第Ⅲ期：令和8年12月5日（予備日：12月6日） 秋入学 令和8年7月4日（予備日：7月5日） <small>※災害等により学力検査日に入学試験を実施できないと大学が判断した場合のみ、予備日に入学試験を延期することがあります。</small>				
合 格 発 表	4月入学 第Ⅰ期：令和8年9月2日 第Ⅱ期：令和8年10月21日 第Ⅲ期：令和8年12月16日 秋入学 令和8年7月15日				

※情報工学専攻の入学定員は、現在、文部科学省に申請中の計画であり、今後、計画内容に変更がある場合があります。

重要

試験室の場所や受験上の注意、試験で使用する物品（PC・説明用資料・電卓等）を追加する場合は、試験日の1週間程度前までにホームページに掲載しますので、各自でご確認ください。

また、試験日までに何らかの不測の事態が生じた場合など、試験実施方法等を急ぎ変更する場合も、速やかに本学ホームページにてお知らせしますので、定期的にご確認願います。

大学院入試最新情報：https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php



目次

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願資格認定審査及び入学許可認定等	2
4	出願手続	
	(1) 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間）	3
	(2) 書類提出方法	3
	(3) 希望指導教員への研究内容等の事前相談	3
	(4) 出願書類	4
5	検定料の支払	5
6	障害等のある人への受験上・修学上の配慮について	5
7	出願についての注意事項	6
8	選抜方法	6
9	アドミッションポリシー	7
10	学力検査日時及び検査方法	
	(1) 学力検査日時及び科目	
	① 4月入学（第Ⅰ期）	11
	② 4月入学（第Ⅱ期）	14
	③ 4月入学（第Ⅲ期）	15
	④ 秋入学	16
	(2) 各入試における専攻ごとの注意事項	17
11	学力検査場所、受験についての注意事項	
	(1) 試験場	19
	(2) 受験についての注意事項	
	1) 持参物	19
	2) 受験上の留意事項	19
	3) 禁止事項	19
	4) その他	20
12	合格発表	20
13	入学手続	20
14	欠員補充	20
15	入学に要する経費	21
16	入学金・授業料の免除等制度	21
17	奨学金制度	22
18	安全保障輸出管理	22
	よくあるご質問	23
	問い合わせ先	23

1 募集人員

学 域	専 攻	募 集 人 員			秋入学
		4月入学			
		第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	
応用生物学域	応用生物学専攻	20名	—	若干名	—
物質・材料 科学域	材料創製化学専攻	18名	—	若干名	—
	材料制御化学専攻	17名	—	若干名	—
	物質合成化学専攻	18名	—	若干名	—
	機能物質化学専攻	17名	—	若干名	—
設計工学域	電子システム工学専攻	10名	—	—	—
	情報工学専攻	※21名	—	若干名	—
	機械物理学専攻	16名	—	若干名	—
	機械設計学専攻	12名	—	若干名	—
デザイン 科学域	デザイン学専攻	30名	—	若干名	※若干名
	建築学専攻	61名 (特定課題型31名、 論文型30名)	—	—	—
	京都工芸繊維大学・チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	※4名	—	—	—
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	35名	若干名	若干名	—
	バイオベースマテリアル学専攻	12名	若干名	若干名	—

※情報工学専攻の入学定員は、現在、文部科学省に申請中の計画であり、今後、計画内容に変更がある場合がある。

※デザイン学専攻の秋入学では、修了方法「DDコース型」のみ募集する。

※建築学専攻の募集人員は、課題型31名、論文型30名を目安とする。各型の募集人員は、あくまでも目安人数であり、出願状況や学力検査の結果により、増減することがある。

※京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻の募集人員4名には、連携外国大学（チェンマイ大学）における入学定員2名分を含むため、本学における入学定員は2名。

- 《注》(1) 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がいない場合があります。
- (2) 機械物理学専攻では機械設計学専攻を、機械設計学専攻では機械物理学専攻を第2志望とすることが可能です。第1志望の専攻で合格とならなかった場合、第2志望の専攻で合格することがあります。
- (3) 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻では、建築学専攻を第2志望とすることが可能です。第1志望の専攻で合格とならなかった場合、第2志望の専攻で合格することがあります。
- (4) 各専攻における推薦入学特別入試または自己推薦特別入試の入学手続者数が募集人員に対して増減した場合は、一般入試第Ⅰ期の各専攻の募集人員を減らす、あるいは増やすなど調整を行います。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する人としします。

- (1) 日本の大学を卒業した人及び令和9年3月（秋入学の場合は令和8年9月）までに卒業見込みの人
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人及び令和9年3月（秋入学の場合は令和8年9月）までに授与される見込みの人
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した人及び令和9年3月（秋入学の場合は令和8年9月）までに修了見込みの人
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した人及び令和9年3月（秋入学の場合は令和8年9月）までに修了見込みの人
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人及び令和9年3月（秋入学の場合は令和8年9月）までに修了見込みの人
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関

の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された人及び令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに授与される見込みの人《注1》

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)又は専攻科(当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程(学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに修了見込みの人
- (8) 文部科学大臣の指定した人(文部省告示第5号)及び令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに該当する見込みの人
- (9) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第102条第2項の規定により大学院に入学した人で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた人《注2》
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに22歳に達する人《注2、注3》
- (11) 令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに、次のいずれかに該当する人であって、本研究科において、本学の定める単位を優れた成績をもって修得したものと認めた人《注2》
 - ① 大学に3年以上在学〔前述(1)の該当者を除く〕した人
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した人
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した人
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人

《注1》(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の期日までに学位授与(見込)証明書、学業成績証明書を入試課大学院入試係(innyushi@kit.ac.jp)まで電子メールにて送付してください。

4月入学 第I期：令和8年6月1日(月)、第II期：令和8年7月24日(金)

第III期：令和8年10月5日(月)

秋入学 令和8年4月20日(月)

《注2》(9)、(10)または(11)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査及び入学許可認定等』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

《注3》(10)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

3 出願資格認定審査及び入学許可認定等

- (1) **『2 出願資格(9)、(10)または(11)の資格で出願する人』**は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となります。

※令和9年3月(秋入学の場合は、令和8年9月)に大学を卒業見込の方は、**出願資格認定審査は不要**です。自身が、出願資格認定審査を受ける必要があるかどうか、わからない場合は、入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

なお、申請書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

https://www.kit.ac.jp/test_index/gs_news/download/

入学時期	入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
4月	第I期	令和8年6月1日(月) 16時まで	令和8年7月10日(金)まで
	第II期	令和8年7月24日(金) 16時まで	令和8年9月7日(月)まで
	第III期	令和8年10月5日(月) 16時まで	令和8年10月30日(金)まで
秋入学		令和8年4月20日(月) 16時まで	令和8年5月20日(水)まで

《注》今年度に実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の出願資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『4 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。
- (3) 『2 出願資格 (II)①』で出願資格認定され、出願し合格した人であっても、在籍する大学において3年次に履修登録した授業科目を優秀な成績で修得している人でなければ入学が許可されません。従って、入学許可の認定審査を次のとおり行いますので、必ず審査手続を行ってください。
- ① 提出書類 成績証明書（3年次末までに修得したすべての科目名、単位数及び評価の記載があるもの）
- ② 提出期限 令和9年3月5日（金）（秋入学の場合：令和8年9月4日（金））
受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までです。なお、郵送の場合も、提出期限の16時までに必着したものについて受け付けます。
- ③ 審査結果 令和9年3月12日（金）（秋入学の場合：令和8年9月11日（金））までに本人宛に通知します。
- なお、本資格で本研究科博士前期課程に入学した人の学部学生としての学籍上の取り扱いは、退学となります。従って、合格者は、入学許可認定後、速やかに退学手続を行ってください。また、各種国家試験などの受験資格において大学の学部卒業が要件となっているものについては、受験資格がなくなるので十分留意してください。

4 出願手続

(1) 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間）

入学時期	入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
4月入学	第Ⅰ期	令和8年7月13日（月）から令和8年7月21日（火）まで
	第Ⅱ期	令和8年9月8日（火）から 令和8年9月15日（火）まで
	第Ⅲ期	令和8年11月2日（月）から令和8年11月10日（火）まで
秋入学		令和8年5月21日（木）から令和8年5月27日（水）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム（<https://www.postanet.jp/info/010050/>）にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

(2) 書類提出方法

<p>入試課へ持参して提出する場合</p> <p>《入試課》松ヶ崎キャンパス3号館1階</p>	<p>○土曜日・日曜日・祝日は受付していません。</p> <p>○受付時間は9時から12時まで及び13時から16時までです。</p>
<p>郵送で提出する場合</p> <p>《郵送先》</p> <p>〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係</p>	<p>○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。</p> <p>○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。</p>

(3) 希望指導教員への研究内容等の事前相談

機械物理学専攻および機械設計学専攻以外の専攻への出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は、大学院入試最新情報ページ

（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）の「教員一覧」をご覧ください。

併せて、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻への出願に当たっては、専攻長にも出願する

旨、あらかじめ連絡してください。

事前の相談をせずに入學した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。また、事前の相談を行った場合でも、研究室配属の選考の結果、専攻によっては、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の可否には一切関係ありません。

(4) 出願書類

- ・ 出願書類の右上に、入學願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください。
- ・ 下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html

(1) 入學願書	インターネット出願システム (https://www.postanet.jp/info/010050/) にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続 (『5 検定料の支払』参照) を行い、入學願書を印刷、提出してください。
(2) 学業成績証明書 【コピー不可】	在籍または出身大学の学長もしくは学部長が作成したものを提出してください。 《注》『2 出願資格 (2)もしくは(0)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学長等が作成したものとし、高等専門学校または短期大学 (以下「高等専門学校等」という) の専攻科に在籍中または出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。
(3) 卒業証明書または 卒業見込証明書 【コピー不可】	在籍または出身大学の学長もしくは学部長が作成したものを提出してください。 《注》『2 出願資格 (2)もしくは(0)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業 (修了) 証明書または卒業 (修了) 見込証明書とし、『2 出願資格 (2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与 (申請受理) 証明書または最終学校の学長等が証明した学位授与申請予定証明書も併せて提出してください。
(4) 志望理由書★ ※該当の専攻・区分のみ	応用生物学専攻 (第Ⅰ期) に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(5) 研究計画書★ ※該当の専攻・区分のみ	応用生物学専攻 (第Ⅲ期)、情報工学専攻 (第Ⅰ期・第Ⅲ期)、デザイン学専攻 (第Ⅰ期・第Ⅲ期)、建築学専攻または京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻に出願する人は、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(6) 希望指導教員調査票★ ※該当の専攻のみ	先端ファイブ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、希望指導教員名、連絡先メールアドレス等を記入の上、提出してください。 建築学専攻、京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻に出願する人は出願時にインターネット出願システム (https://www.postanet.jp/info/010050/) に希望指導教員名を記入いただきますので、紙媒体の提出は不要です。事前に下記リンクにて希望指導教員一覧や注意書きを確認してください。 https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/yoko/in/Mc_kenchiku1_kibosidokyoin.pdf
(7) 口述試験資料★ ※該当の専攻のみ	バイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、下記の2つの課題について指定様式を用いて1,000字程度ずつ記述してください。 1. 卒業研究 (行っていない場合はこれまでの修学内容) について 2. バイオベースマテリアル学専攻における関心の高い研究について * 作成にあたっての留意事項 図表を含めても良い。
(8) TOEIC個人用 公式認定証 (デジタル)	TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの) を提出してください。 <u>公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。</u> デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係 (巻末問合せ先参照) に出願期間までにご相談ください。 なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日 (公式認定証に明記されている年月日) が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。 <u>また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度 (IPテスト) では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。</u>

※条件を満たす人はTOEIC個人用公式認定証の提出が不要な場合があります。
 詳細は6ページの『8. 選抜方法』を確認してください。

- (9) その他
- ア. 現在、他の大学院に在学中の人は、当該大学院の受験許可書。
 - イ. 外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。
 - ウ. 授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（21ページ参照）。
 - エ. 2出願資格(3)または(4)の資格で出願する場合は、修学歴の確認のため、履歴書★を提出してください。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

※入学選抜における個人の成績は、入学選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

5 検定料の支払

30,000円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が不要または免除されることがあるため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の申請予定者	国費外国人留学生であることを証明する書類	不要
大規模な風水害等により被害（居住家屋の半壊等）を受けた人	風水害等の発生が出願期間前の概ね1年以内	別途指示します	全額免除の場合あり

6 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前からかじめ本学に申し出てください。

なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

① 相談の時期

原則として、出願期間開始日の1週間前まで。

② 申請方法及び提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html>）をご確認ください。なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方との面談等を行います。

③ 連絡先

巻末問合せ先（大学院入試全般について）参照

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

7 出願についての注意事項

- (1) 次の場合には、出願書類を受理しません。
 - ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
 - ② 出願書類がそろっていない場合
 - ③ 出願書類の記載が不完全な場合
 - ④ 検定料が支払われていない場合
- (2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。
- (3) 出願書類は原則返還しません。
また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。
 - ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に支払った場合※ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。
- (4) 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

8 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。学力検査は、専攻ごとの指定のない限り、日本語で実施します。

なお、次の条件を満たす人については、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。

- ・主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である。

上記に該当すると思われる方は、次の日時までに電子メールにて入試課大学院入試係にご相談願います。その際、原則として、大学・学部において「主として英語による教育を受けた」ことを証明する書類が必要になります。

なお、他大学院の博士前期課程（修士課程）を英語により修了した場合であっても、「主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である」ことを示す証明書を提出してください。

- ・選抜区分ごとの提出期日

4月入学	第Ⅰ期	令和8年6月1日（月）
	第Ⅱ期	令和8年7月24日（金）
	第Ⅲ期	令和8年10月5日（月）
秋入学		令和8年4月20日（月）

- ・相談方法：電子メール（innyushi@kit.ac.jp）

9 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

応用生物学専攻

人材育成の目標

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな研究者・技術者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

ライフサイエンスに関する専門的な知識、実験科学的な理解力、英文の読解や表現に優れた能力

材料創製化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、高分子物性工学、無機材料科学、材料物理化学、並びに光工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子やセラミックスなどをベースにして高次構造化・機能化のアプローチにより実効性ある革新材料開発を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

本専攻の修了生は、電気製品、化学（プラスチック、有機、無機他）、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対する強い関心、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲

材料制御化学専攻

人材育成の目標

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。本専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性をもつ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指すための総合力

物質合成化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、有機、無機、高分子化合物、各種ハイブリッドの合成化学、精密分子設計、触媒反応化学、界面材料化学、ならびにヘテロ元素化学に関する十分な基礎知識をもち、精密合成を基盤にボトムアップのアプローチで、医薬品、農薬、発光材料、液晶分子、界面活性物質、繊維改質剤、光反応性触媒など革新的な物質や材料の創成を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として、人間的に広く深い素養と自覚、ならびに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。本専攻の修了生は、化学（有機、プラスチック、油脂他）、医薬品、繊維製品分野等の企業において、化学製品や機能材料の創製に軸足を置いた研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

物質の合成に強い興味と関心をもち、化学に関する幅広い基礎知識を備え、環境との調和、原子・分子レベルでの物質創成を通して有用な新規材料の開発を実現する意欲

機能物質化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、生体関連化学、生物化学、物理・分析化学、分子構造化学、高分子化学及び化学工学に関して十分な基礎知識をもち、生物の機能や構造を再現・応用することによって、新しい物質や材料を創成するとともに、化学の視点を軸として分子レベルで物質の機能を捉え、構造を探り、その活用を促進できる応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、他専攻の講義履修や研究交流を通じながら、広い視野で材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚並びに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能に関する強い興味と関心、研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力及び問題解決能力

電子システム工学専攻

人材育成の目標

数学、物理学、電気電子系専門科目の十分な基礎知識を有し、再生可能エネルギー、ナノテクノロジー、新材料、エレクトロニクス、情報通信、画像処理に関する基盤技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づいて、物理学、化学、医学との境界領域分野の開拓を先導できる能力、新しい技術を社会実装できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲

情報工学専攻

人材育成の目標

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業をはじめとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業および教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者の育成です。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

情報工学、数学に秀でた能力、研究活動に必要な英語能力、豊かな情報社会を実現する強い熱意を持って創造的な研究・開発に意欲的に取り組めること

機械物理学専攻

人材育成の目標

機械物理学専攻は、機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的および数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

機械工学の基礎学力、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組めること

機械設計学専攻

人材育成の目標

機械設計学専攻は、機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

機械工学の基礎学力、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組めること

デザイン学専攻

人材育成の目標

本専攻では、モノづくりに関わる専門的な社会実装能力を身につけ、異分野の専門家との混合チームの中でデザイナーやエンジニア、またマネージャーとして力を発揮でき、アイデアを実現するためのプレゼンテーション能力と英語でのコミュニケーション能力を身につけ、また、キュレーション分野においては、美術、デザイン、建築などの作品や作者についての基本的な知識を習得し、それを踏まえて作品の分析と文献の解説による理論構築をするとともに、対象の「価値」を「キュレーション」（「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」）という形式でも示しうる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

さらに、連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（DDコース型）では、デザイン分野での国際連携プロジェクトなども行える人材の育成も目指しています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する実技または筆記試験、研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

デザイン、マネジメント、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキル、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とする。

※ 修了方法について

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型、また、共同プロジェクトやデザイン課題の成果を提出する連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（DDコース型）の3種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。なお、DDコース型は2年後の9月に修了します。4月入学の場合は修了まで2年半在籍することになります。（一般入試秋入学では、修了方法「DDコース型」のみ募集します。）

建築学専攻

人材育成の目標

本専攻では、国際的な競争力を有した都市・建築の計画立案、設計、総合的マネジメントの能力を有し、歴史や環境、地域に根ざした都市・建築の保存・修復・再生に関する構想力と、総合的マネジメント能力を身に付け、さらに、デザインやまちづくりの合意形成や研究内容の社会化を意識した、高い説明能力を有している人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験、実技試験、研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

建築学に関する基礎的な学力と建築設計能力、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

特に京都という地において都市・建築を学ぶことに意識的な人材、歴史と場所性に寄り添う思考態度を持つ人材、地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を有する人材を求めます。

※ 修了方法について

本専攻には、修了審査に修士論文を提出する論文型と、修了作品を提出する特定課題型の2種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。

京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

人材育成の目標

本専攻では、「英語を共通語とした語学能力とグローバルな視点」「国際的に通用する建築計画・設計能力と都市・

建築の再生・リデザイン能力」をもち、さらに「総合的かつ論理的に思考する能力」「実践・提案につなげていくためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力」「様々な文化的背景を持つ都市・建築空間を地域に根ざして読み解く能力」を身につけた人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験、実技試験、研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

建築計画・設計と都市・建築の再生・リデザインに関する基礎的能力を有し、国際的な環境におけるコミュニケーションやプレゼンテーションへの意欲・行動力を持ち、様々な文化的背景を持つ都市・建築空間の地域性への理解・関心を有すること。

※ 修了方法について

本専攻には、修了審査に修士論文を提出する論文型と、修了作品を提出する特定課題型の2種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。

先端ファイブ科学専攻

人材育成の目標

繊維や繊維製品に関連する科学技術と工学、およびヒトへの応用を学ぶことにより、ヒトと環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。加えて、新しい機能性繊維の開発や、繊維製品の設計・評価・リサイクル、さらにはヒトの生体情報や日本の伝統技術の理解といった先端の専門研究を自らが主体的に実践することにより、高度な専門的技術や知識を備えた人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

知識の習得意欲ならびに課題解決に対する積極性を求めます。英語による筆記試験、これまで学んできた専門知識に関する口述試験の評価により、能力・適性を判定します。

求める能力と適性

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力

バイオベースマテリアル学専攻

人材育成の目標

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術の基礎を横断的かつ国際的に理解し、その課題解決のために協働できる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解できる人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。口述試験及び英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

環境問題への関心と解決意欲を備え、科学に対する興味が高く、研究成果の社会に対する貢献心を持っていること。

10 学力検査日時及び検査方法

(1) 学力検査日時及び科目

① 4月入学（第Ⅰ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	100	生物学、生化学に関連する問題から選択
		口述 試験	15:00~	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻 材料制御化学専攻 物質合成化学専攻 機能物質化学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	専門基礎科目Ⅰ 10:00~11:30(90分)	100	有機化学(高分子化学を含む)
			専門基礎科目Ⅱ 13:00~14:30(90分)	100	物理化学
	専門基礎科目Ⅲ 15:00~16:30(90分)		100	物理学	
	令和8年 8月20日(木)	筆記 試験	専門基礎科目Ⅳ 10:00~11:30(90分)	100	無機化学(分析化学〔各種化学平衡〕を含 む)
			専門基礎科目Ⅴ 13:00~14:30(90分)	100	高分子機能工学(高分子物性を含む)
専門基礎科目Ⅵ 15:00~16:30(90分)			100	生体関連化学	
(注) 専門基礎科目Ⅰ~Ⅵの6科目のうちから3科目を出願時に選択する。					
電子システム工学 専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	50	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	専門科目 10:00~12:00(120分)	150	電磁気学、電気回路、電子回路の3題
		口述 試験	13:30~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等につ いて実施する。
情報工学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	150	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	数学 10:00~12:00(120分)	150	線形代数から1題、微積分(微分方程式を含 む)から2題の計3題
		筆記 試験	専門科目 13:30~15:30(120分)	300	プログラミング(C,Java,データ構造とアルゴ リズム)

(次ページへ続く)

4月入学（第1期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
機械物理学専攻	令和8年 8月19日（水）		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	数学 10：00～11：30（90分）	150	線形代数から1題、微積分（微分方程式を含 む）から2題の計3題
		筆記 試験	専門科目 13：00～16：00（180分）	400	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分 野から各1題（計4題）
機械設計学専攻	令和8年 8月19日（水）		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		筆記 試験	数学 10：00～11：30（90分）	150	線形代数から1題、微積分（微分方程式を含 む）から2題の計3題
		筆記 試験	専門科目 13：00～16：00（180分）	400	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分 野から各1題（計4題）
デザイン学専攻	令和8年 8月19日（水）		外国語 （筆記試験は実施しない）	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアによ り、評価する。
		実技 または 筆記 試験	専門科目 9：30～12：00（150分）	A：300 B：200	特定課題型は、デザインに関わる実技を含む 問題。 論文型は、デザイン、マネジメント、エンジ ニアリング、キュレーションに関わる記述問 題4題のうちから1題を選択。 DDコース型は、論述形式の英文問題。 3コース全ての試験で、英語で出題される場 合がある。
		口述 試験	13：00～	A：200 B：300	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参 した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。
		（注）実技または筆記試験、さらに口述試験の配点については、特定課題型および論文型 は、A配点、DDコース型は、B配点となる。			

（次ページへ続く）

4月入学（第1期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
建築学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	課題型： 150 論文型： 200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		筆記 試験	総合問題 9：00～10：30（90分）	200	歴史、計画、構造、設備の各分野から、四肢択 一問題を32題出題（マークシート方式）。
		筆記 試験	専門問題 10：45～12：15（90分）	課題型： 200 論文型： 300	「歴史(日本建築史)」、「歴史(世界建築史)」、 「歴史(近現代建築史)・建築論」の分野から 各1題ずつ、 「計画」、「構造」、「設備」の分野から 各2題ずつ、 合計9題のうちから2題選択する（同一分野か ら2題を選択することも可）。
	実技 試験	設計 13：30～17：30（240分）	課題型： 300 論文型： 200	建築設計。解答用のケント紙はA2サイズとす る。なお、論文型と特定課題型では問題及び解 答の分量が異なる（論文型はA2サイズ1枚、特 定課題型はA2サイズ2枚）。	
	令和8年 8月20日(木)	口述 試験	13：00～	課題型： 150 論文型： 100	特定課題型は前日に実施した実技試験に関する 内容及び関連する専門的知識について実施する。 論文型は大学院における研究計画及び関連する 専門的知識について実施する。
京都工芸繊維大学・ チェンマイ大学 国際連携建築学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		筆記 試験	総合問題 9：00～10：30（90分）	200	歴史、計画、構造、設備の各分野から、四肢 択一問題を32題出題（マークシート方式）。
		筆記 試験	専門問題 10：45～12：15（90分）	250	「歴史(日本建築史)」、「歴史(世界建築史)」、 「歴史(近現代建築史)・建築論」の分野から 各1題ずつ、 「計画」、「構造」、「設備」の分野から 各2題ずつ、 合計9題のうちから2題選択する（同一分野 から2題を選択することも可）。
	実技 試験	設計 13：30～17：30（240分）	250	建築設計。解答用のケント紙はA2サイズとす る。なお、論文型と特定課題型では問題及び解 答の分量が異なる（論文型はA2サイズ1枚、特 定課題型はA2サイズ2枚）。	
	令和8年 8月20日(木)	口述 試験	11：00～	100	特定課題型は前日に実施した実技試験に関する 内容及び関連する専門的知識について実施する。 論文型は大学院における研究計画及び関連する 専門的知識について実施する。

(次ページへ続く)

4月入学（第Ⅰ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブロ 科学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより、評価 する。
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について 実施する。外国人については、日本語による試 問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された T O E I C 個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		口述 試験	10:00~	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。 志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試 問等を含む。また、提出された口述試験資料 の内容について5分間程度口頭で説明を求め、 それに関連する質問をする。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験 者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認 ※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施 する。 令和8年8月6日(木) 12:00~14:00、 令和8年8月7日(金) 12:00~14:00

② 4月入学（第Ⅱ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブロ 科学専攻	令和8年 10月10日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された T O E I C 個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について 実施する。外国人については、日本語による試 問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和8年 10月10日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された T O E I C 個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		口述 試験	10:00~	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。 志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試 問等を含む。また、提出された口述試験資料 の内容について5分間程度口頭で説明を求め、 それに関連する質問をする。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験 者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認 ※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施 する。 令和8年10月5日(月) 12:00~14:00、 令和8年10月6日(火) 12:00~14:00

③ 4月入学（第Ⅲ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	200	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎 及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎 及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎 及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎 及び専門的学力について問う。
情報工学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 9:30～12:00 (150分)	300	プログラミング、ハードウェア、情報通信の 3題
		口述 試験	13:30～	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等につ いて実施する。
機械物理学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。
機械設計学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。

(次ページへ続く)

4月入学（第Ⅲ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
デザイン学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		実技 または 筆記 試験	専門科目 9:30~12:00 (150分)	A:300 B:200	特定課題型は、デザインに関わる実技を含む 問題。 論文型は、デザイン、マネジメント、エンジ ニアリング、キュレーションに関わる記述問 題4題のうちから1題を選択。 DDコース型は、論述形式の英文問題。 3コース全ての試験で、英語で出題する場 合がある。
		口述 試験	13:00~	A:200 B:300	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参 した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。
		(注) 実技または筆記試験、さらに口述試験の配点については、特定課題型および論文型 は、A配点、DDコース型は、B配点となる。			
先端ファイブロ 科学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評 価する。
		口述 試験	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等につ いて実施する。外国人については、日本語によ る試問を含む。研究意欲と表現力も重視して 評価する。
バイオベース マテリアル学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、 評価する。
		口述 試験	10:00~	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。 志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試 問等を含む。また、提出された口述試験資料 の内容について5分間程度口頭で説明を求め、 それに関連する質問をする。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験 者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認 ※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施 する。 令和8年11月30日(月) 12:00~14:00、 令和8年12月1日(火) 12:00~14:00

④ 秋入学

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
デザイン学専攻 (DDコース型)	令和8年 7月4日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評 価する。
		筆記 試験	専門科目 9:30~12:00 (150分)	200	デザインに関する論述形式の英文問題。
		口述 試験	13:00~	300	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参 した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。

(2) 各入学試験における専攻ごとの注意事項

4月入学（第1期）

■材料創製化学専攻／材料制御化学専攻／物質合成化学専攻／機能物質化学専攻

一部の専門基礎科目の試験において、電卓を貸与します。

■デザイン学専攻

口述試験の際、A3用紙の大きさに3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

■建築学専攻

下記のものを持参してください。

ア. 総合問題：電卓《注》、HBまたはBの黒鉛筆

イ. 専門問題：電卓《注》

ウ. 設 計：製図用具、電卓《注》。ただし、製図板とT定規は貸与します。

なお、メモ類の持ち込みは一切認めません。

エ. 口述試験：論文型において研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。

特定課題型においては、建築設計作品のうち代表的な2点程度を説明できるポートフォリオ（図面、写真等、サイズはA3程度）を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参して、そのうち1部は提出してください。研究計画を説明する場合は、それに必要な資料も面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

《注》四則計算に加えてルート計算ができる計算機能のみの電卓（関数電卓は使用できません。電卓は貸与しませんので、受験者各自で用意してください）。

■京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

下記のものを持参してください。

ア. 総合問題：電卓《注》、HBまたはBの黒鉛筆

イ. 専門問題：電卓《注》

ウ. 設 計：製図用具、電卓《注》。ただし、製図板とT定規は貸与します。

なお、メモ類の持ち込みは一切認めません。

エ. 口述試験：論文型において研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。

特定課題型においては、建築設計作品のうち代表的な2点程度を説明できるポートフォリオ（図面、写真等、サイズはA3程度）を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し提出してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

また、論文型、特定課題型いずれにおいても、指定の期日までに、口述試験で使用する資料をPDFデータにして事前に提出してください。

提出先：京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻長

※提出期日及び提出先（メールアドレス）は、事前相談の際にお知らせします。

《注》四則計算に加えてルート計算ができる計算機能のみの電卓（関数電卓は使用できません。電卓は貸与しませんので、受験者各自で用意してください）。

■バイオベースマテリアル学専攻

出願者数が30名を超えた場合には、事前の書類選考を行います。

なお、書類選考の有無については、出願締切の5営業日後までに本学ホームページ

（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）上での出願者数の公表をもって代えます。書類選考を行った場合は、その結果を口述試験接続テスト3日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技

術的要件については本専攻ホームページ (<https://www.biobased.kit.ac.jp/>) に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して（書類選考を行った場合は書類選考通過者に対して）口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162 e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

4月入学（第Ⅱ期）

■バイオベースマテリアル学専攻

出願者数が30名を超えた場合には、事前の書類選考を行います。

なお、書類選考の有無については、出願締切の5営業日後までに本学ホームページ

(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) 上での出願者数の公表をもって代えます。書類選考を行った場合は、その結果を口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ (<https://www.biobased.kit.ac.jp/>) に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して（書類選考を行った場合は書類選考通過者に対して）口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162 e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

4月入学（第Ⅲ期）

■デザイン学専攻

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

■バイオベースマテリアル学専攻

出願者数が30名を超えた場合には、事前の書類選考を行います。

なお、書類選考の有無については、出願締切の5営業日後までに本学ホームページ

(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) 上での出願者数の公表をもって代えます。書類選考を行った場合は、その結果を口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ (<https://www.biobased.kit.ac.jp/>) に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して（書類選考を行った場合は書類選考通過者に対して）口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162 e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

秋入学

■デザイン学専攻

デザイン学専攻の秋入学入試は、DDコース型のみを対象としたものです。

口述試験の際、A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

11 学力検査場所、受験についての注意事項

(1) 試験場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）

※バイオベースマテリアル学専攻はオンライン形式で実施しますので、来学の必要はありません。オンライン口述試験の詳細については17～18ページの「各入学試験における専攻ごとの注意事項」をご確認ください。

(2) 受験についての注意事項

1) 持参物

試験には、次の物を持参してください。

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
- ② 筆記用具（HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
- ③ 時計（携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。）

※試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り（カッターナイフ、電動式及び大型のものは不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身のみ袋から取り出したもの）、目薬、マスク

※デザイン学専攻、建築学専攻および京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻については、専攻ごとの注意事項で指定されたものを準備しておいてください。

2) 受験上の留意事項

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
- ② 試験当日は、各科目の試験開始15分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ③ 試験開始後、20分以上遅刻して所定の試験室または口述試験控室に到着した場合は、受験することができません。
- ④ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または試験監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑦ 試験当日、大学到着後に体調不良が発生した場合は、入試課または試験監督者に申し出てください。なお、症状によっては受験を認めない場合があります。
- ⑧ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われる場合は、試験監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度20分を超過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。
- ⑨ 試験中に水分補給をしたい場合は、試験監督者の許可を得た上で行ってください。
- ⑩ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。
- ⑪ 口述試験においては、控室での待機が長時間になる場合がありますので、持参した飲み物の飲用及び試験監督者から許可を得た一般書物（小説など）を読んでも構いません。なお、試験中及び口述試験の待機時を含めて、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・タブレット端末などの通信機器は使用できません。

3) 禁止事項

- ① 試験中は、上記「1) 持参物」中の※で記載したもの、並びに試験監督者の指示するもの以外は机上に

置いてはいけません。ただし、受験上の配慮申請を事前に行い許可されたものは置くことができます。

- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。
- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、事前に許可されている場合を除き、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品や、事前に許可された場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書など）は使用できません。なお、イヤホンは、使用の有無にかかわらず、耳に装着していれば、不正行為とします。
- ⑦ 事前に許可されている場合を除き、各建物のエレベーターの使用を禁止します。

4) その他

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。

<https://www.kit.ac.jp/>

- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

12 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）に発表します。

なお、合格通知書は、合格通知サイト（WEBシステム）からダウンロードしてください。合格通知サイトへのアクセス方法は、合格発表時に上記URLにてお知らせします。

・選抜区分ごとの合格発表予定日時

4月入学	第Ⅰ期	令和8年9月2日（水）17時（予定）
	第Ⅱ期	令和8年10月21日（水）17時（予定）
	第Ⅲ期	令和8年12月16日（水）17時（予定）
秋入学		令和8年7月15日（水）17時（予定）

13 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、

本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/successfulapplicants/）からダウンロードしてください。

4月入学	第Ⅰ期	令和8年11月19日（木）から令和8年11月25日（水）（17時必着）まで
	第Ⅱ期	令和8年11月19日（木）から令和8年11月25日（水）（17時必着）まで
	第Ⅲ期	令和9年2月11日（木）から令和9年2月17日（水）（17時必着）まで
秋入学		令和8年7月21日（火）から令和8年7月27日（月）（17時必着）まで

14 欠員補充

デザイン学専攻、建築学専攻及び京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻においては、令和8年11月25日（水）時点の入学手続者が一般入試第Ⅰ期の募集人員に満たない場合、令和8年11月27日（金）から12月3日（木）まで一般入試第Ⅰ期の合格者を追加することがあります。

追加合格者には、電話等で入学願書に記載された受信場所に連絡しますので、この期間は直接本人と連絡できるようにしておいてください。追加合格状況については本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）で確認してください。

なお、入学手続後に入学辞退者がいた場合においても、一般入試第Ⅰ期の合格者を追加することがあります。

15 入学に要する経費

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 授業料 267,900円(半期)、535,800円(年額)
- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料
2年間の保険料 2,430円(予定)
- (4) 留意事項
 - ① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
 - ② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
 - ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。
 - ④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
 - ⑤ 納入方法等の詳細については、入学手続書類にて案内します。
 - ⑥ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ⑦ 入学手続時に入学に要する経費を納入した後で、令和9年3月31日(水)17時(秋入学の場合は令和8年9月24日(木)17時)までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に問い合わせしてください。

16 入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

令和9年度前期分(秋入学は令和8年度後期分)の授業料免除の申請方法は、外国人留学生(在留資格が「留学」の人、及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人)とそれ以外の人とで次のとおり異なります。詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係へ問い合わせてください。

■令和9年度前期分(秋入学は令和8年度後期分)の授業料免除の申請方法

- (1) 外国人留学生(在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人)のうち、下記のいずれかに該当する人
 - ・私費外国人留学生
 - ・出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人(国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます)出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。
 - ① 申請期間
入試の出願期間に、「② 申請書類」を入試出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、3ページの『4(1)出願期間』を参照してください。
 - ② 申請書類
 - ・授業料免除申請書類一式(本学所定様式)本学ホームページ(https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)よりダウンロードしてください。
 - ③ 選考結果の通知
合格発表日に合格通知サイトから免除選考結果通知書をダウンロードしてください。
- (2) 上記(1)以外の人
入学手続後に申請を受け付けます(申請受付日は令和9年3月(秋入学は令和8年9月)の予定)。
申請方法は、入学手続書類で確認してください。

17 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学が困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金の貸与を受けることができます（外国人留学生を除く）。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。

<返還免除制度>

日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた者であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。また、博士前期課程（修士課程）の入学前に返還免除が内定（決定は貸与終了時）する制度があります。（秋入学者は除く）

(2) 授業料後払い制度

大学院の修士段階（博士前期課程）の授業料について、要件を満たす学生を対象に国が授業料を立て替え、返還は修了後の所得に応じて「後払い」とする制度です。あわせて、生活費奨学金の貸与を受けることもできます。

(3) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。願い出により選考のうえ、奨学金の貸与または給付を受けることができます。

18 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都工芸繊維大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供や研究者・学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当するおそれのある場合は、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育研究活動ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が不許可とした場合は、希望する教育研究内容の変更を求められる場合や、結果的に本学での教育研究活動ができない場合があります。

【参考】経済産業省 URL：<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

本件に関する本学問い合わせ先 研究推進・産学連携課 ken-apply@jim.kit.ac.jp

よくあるご質問

Q 1 : 現在在籍している大学(学部)を令和9年3月卒業見込みです。令和9年4月入学の博士前期課程(修士課程)の入学試験の出願に当たって、2ページに記載の出願資格認定審査を申請する必要がありますか。

A : ご質問の条件であれば、1ページに記載の出願資格のうち、「(1)日本の大学を卒業した人及び令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに卒業見込みの人」に該当することから、出願資格認定審査の申請は不要です。

Q 2 : 一般入試(第I期)で電子システム工学専攻への出願を考えていますが、出願時に志望理由書や、研究計画書の提出は必要ですか。

A : 不要です。4ページに記載の出願書類のうち、志望理由書、研究計画書の項目に明記されている専攻・区分に出願する場合のみ、それぞれ提出が必要です。

なお、社会人特別入試、外国人留学生特別入試に出願する場合は、全専攻で研究計画書の提出が必要です。

Q 3 : 希望指導教員と連絡を取りたいのですが、連絡先を教えてください。

A : 大学院入試最新情報(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) ページ右上の「教員一覧(研究内容等)」に、博士前期課程(修士課程)、博士後期課程で指導を行う各教員の研究テーマと、事前相談フォームのURLを掲載していますので、同フォームから連絡してください。

問い合わせ先

大学院入試全般について

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学

入試課大学院入試係

TEL : 075-724-7162 e-mail : innyushi@kit.ac.jp

◆ 入試課へお問い合わせの際には、受験希望の入試について下記の情報をできるだけ詳細にお知らせください。

また、出願後のお問い合わせについては、必ず受験票に記載されている「受験番号」をお知らせ願います。

- 修士課程、博士課程
- 「入試種別」(推薦、自己推薦、一般、社会人、外国人留学生)
- 「入試区分」(4月入学(第I期、第II期、第III期)、秋入学)
- 「志望専攻」

入学手続について

学務課学務企画係

TEL : 075-724-7133 e-mail : gakumu@jim.kit.ac.jp

入学金・授業料の免除制度及び奨学金制度について

学生支援・社会連携課経済支援係

TEL : 075-724-7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

安全保障輸出管理について

研究推進・産学連携課

e-mail : ken-apply@jim.kit.ac.jp